

国際研究協力者募集

「アートが健康に与える影響」

65歳以上の男女のみなさま。
あなたの力が必要です。

医療研究プロジェクト

A-Health

JAPAN

aa arts alive

一般社団法人 アーツアライブ

RUIS McGill

TOKYO FUJI ART MUSEUM 東京富士美術館



研究実施期間 2019年 5月8日～8月3日

募集人数 65歳以上の在宅男女(150名)

研究実施場所 東京富士美術館 または ご自宅・その他

実施要項

- お申込み後、事務局より確認のメールが届きます。
- 協力者のQOL、ウェルビーイング、健康に関するオンライン調査に期間中4回答て頂きます。これはアートを体験しないグループの方にも答えて頂き比較する事でアート体験の効果を測定します。
- 5月8日の説明会で協力者をランダムにふたつにわけ片方のグループのみ毎週末月4回計12回美術館に来てアート活動にご参加頂きます。
- 期間中いずれのグループも同じ質問票に答えて頂き、参加型アートの効果を検証します。

研究協力者特典

QOL(生活の質)、ウェルビーイング(幸福度)、健康状態のセルフチェックがオンラインで出来ます。東京富士美術館より特典進呈。

参加用件

- 65歳以上の男女(在宅の方に限る)
- スマホ、タブレット、パソコン上で簡単なオンライン調査(20分ほど)に答えることが可能な方
- 研究協力同意書に署名
- メディア取材が可能な方(取材拒否の方はその旨おっしゃってください)
※すでに他の研究に協力されている方は参加できません。予めご了承ください。

応募方法

下記のアーツアライブのウェブサイトよりオンラインの参加申込書をメールにてご送付下さい。追って事務局より対象者に詳細をご連絡致します。

応募〆切 2019年 4月30日(火)まで

www.artsalivejp.org

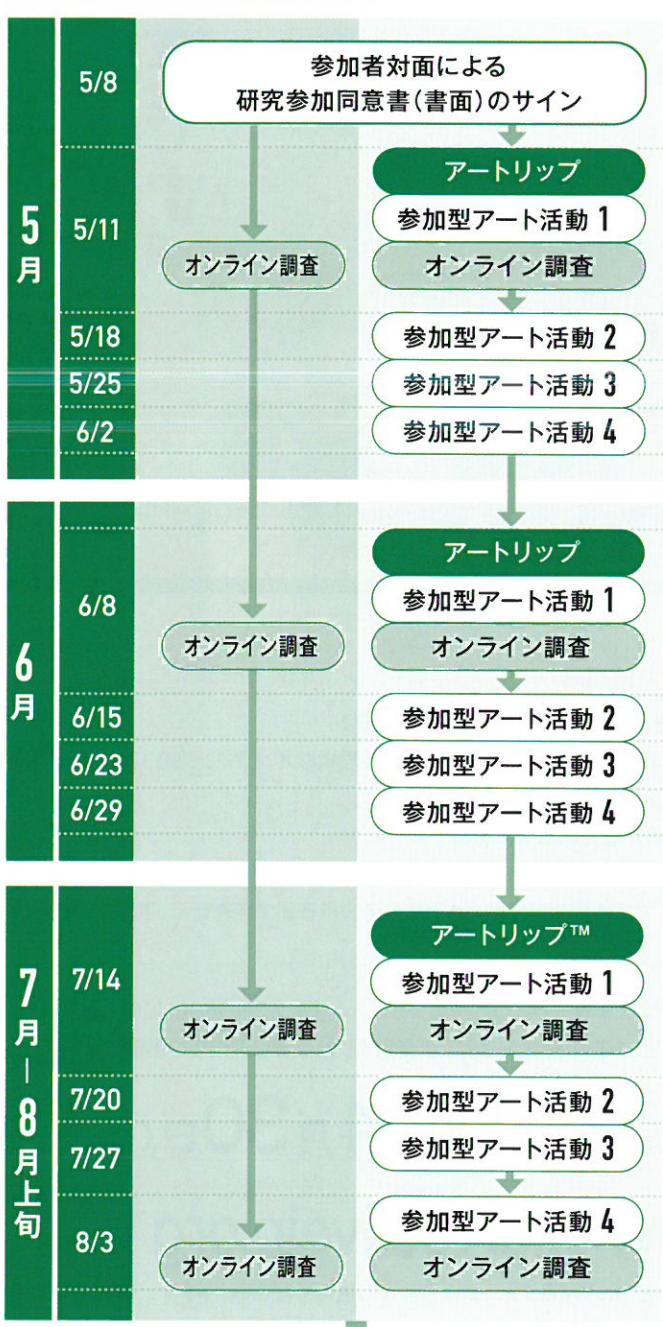
こちらのWEBフォームよりお申し込みください。▶▶▶



国際研究協力者募集

「アートが健康に与える影響」医療研究プロジェクト A-Health JAPAN

研究のながれ



調査
修了後

オンラインでログイン後、結果をセルフチェックできます。

A-Health研究について

2018年、モントリオール美術館にて、150名の在宅高齢者を対象に「参加型アート」の効果を調査。その結果、ウェルビーイング(幸福度)、QOL(生活の質)が向上。更に臨床研究で初めて参加型アート活動が在宅高齢者の身体的健康も向上させる事が証明されました。さらに「2019-2020 A-Health」では、同様の実験を、世界10カ国(カナダ、英国、フランス、スイス、イスラエル、アメリカ、オーストラリア、日本、シンガポール、台湾)の美術館で実施(世界初の試み)。ミュージアムが高齢者の健康増進の重要なパートナーになることの証明を目指しています。

A-Health Japan 研究主体

① 一般社団法人アーツアライブ



アートの創造性、非日常性を生かして、障害を持つ人を含む多世代の生活と社会をエンパワーアーすることを目的とし2009年に創立。認知症の方と一般の方による対話型アートプログラム「アートリップ」を国立西洋美術館や都内近郊高齢者施設で実施。2013年に臨床実験でアートによるうつ病の軽減等の効果を実証。

② カナダ マギル大学

Centre of Excellence on Longevity | RUIS McGill



カナダ最高の国立大学。CEEXLO所長ボーシエ教授は同大学医学部の教授。2018年モントリオールでのA-Health研究を企画・実施。今回の国際A-Healthhの主導者。

A-Health 研究協力美術館

東京富士美術館



東京都八王子市にある日本・東洋・西洋の各國、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約30000点を収蔵しています。

参加型アート活動

アートを通した「対話・創作」の活動



3つの異なるテーマを基にしたアート創作をグループで体験。美術の知識や技は必要なく、どなたでも簡単にできる活動。作品の良し悪し、上手下手は関係ありません。

【アートリップとは】グループでアートを見て、参加者が感じ思ったことを自由に発言・共有するアーツアライブ独自の「対話型アートプログラム」。

オンライン調査内容

選択式の質問に回答

QOL(生活の質)、ウェルビーイング(幸福度)、健康状態について選択式の質問に答えて頂きます。(無記名で結果は今回の研究の為にのみ使用)